

## 授 業 概 要 ( 1 / 5 )

授業のタイトル (科目名) 相談援助演習		授業の種類 (講義・演習・実習)	授業担当者 保田 浩美・花内 茉由・濱田 新
回数 75回 (前期38回/後期37時間)	時間数 (単位数) 150時間 (前期75時間/後期75時間)	配当学年・時期 1年 通年	必修 ・ 選択
<b>【授業の目的・ねらい】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各分野で活躍している卒業生や実践家から社会福祉士の実践的な働きを知り、社会福祉士の基本的態度・知識・技術を学ぶ。</li> <li>・専門的援助技術の概念化・理論化を図り、体系立てていくことができる能力を涵養させる。</li> </ul>			
<b>【授業全体の内容の概要】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的かつ包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発に係る具体的な相談援助事例を体系的にとりあげ理解を深める。</li> <li>・臨床場面を想定した実技指導（ロールプレイング等）を用い体系的に理解を深める。</li> </ul>			
<b>【授業修了時の達成課題（到達目標）】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉士の役割と働きについて知り、自身の適正を踏まえた社会福祉士像を構築することが出来る。</li> <li>・相談援助技術に必要な知識、倫理、価値、技術を説明できる。</li> </ul>			
<b>【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2. 自己覚知と他者理解①</li> <li>3. 自己覚知と他者理解②</li> <li>4. 組織と連携①</li> <li>5. 組織と連携②</li> <li>6. 組織と連携③</li> <li>7. 社会福祉士の仕事を知る①</li> <li>8. 社会福祉士の仕事を知る②</li> <li>9. 社会福祉士の仕事を知る③</li> <li>10. 領域別 社会福祉士の仕事の概要を調べる①</li> <li>11. 領域別 社会福祉士の仕事の概要を調べる②</li> <li>12. 領域別 社会福祉士の仕事の概要を調べる③</li> <li>13. 領域別 社会福祉士の実践的な働きを学ぶ (仮) 児童福祉分野①</li> <li>14. 領域別 社会福祉士の実践的な働きを学ぶ (仮) 児童福祉分野②</li> <li>15. 領域別 社会福祉士の実践的な働きを学ぶ (仮) 児童福祉分野③</li> </ol>			
<b>【使用テキスト・参考文献】</b> 最新・ソーシャルワークの理論と方法【共通】 最新・ソーシャルワークの理論と方法【社会専門】 中央法規出版 社会福祉小六法2021 配布資料		<b>【単位認定の方法及び基準】</b> 授業態度、発表、作成資料、出席状況から総合的に評価し、単位認定を行う。下記の記載内容も留意すること。 ※1 試験の評価基準：6割以上の成績にて合格。 ※2 出席の評価基準：欠席が多い場合には、期末試験の受験資格が得られない。また、単位認定も行わない。	

## 授 業 概 要 (2/5)

授業のタイトル (科目名) 相談援助演習		授業の種類 (講義・演習・実習)	授業担当者 保田 浩美・花内 茉由・濱田 新
回数 75回 (前期38回/後期37時間)	時間数 (単位数) 150時間 (前期75時間/後期75時間)	配当学年・時期 1年 通年	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択
<b>【授業の目的・ねらい】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各分野で活躍している卒業生や実践家から社会福祉士の実践的な働きを知り、社会福祉士の基本的態度・知識・技術を学ぶ。</li> <li>・専門的援助技術の概念化・理論化を図り、体系立てていくことができる能力を涵養させる。</li> </ul>			
<b>【授業全体の内容の概要】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的かつ包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発に係る具体的な相談援助事例を体系的にとりあげ理解を深める。</li> <li>・臨床場面を想定した実技指導（ロールプレイング等）を用い体系的に理解を深める。</li> </ul>			
<b>【授業修了時の達成課題（到達目標）】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉士の役割と働きについて知り、自身の適正を踏まえた社会福祉士像を構築することが出来る。</li> <li>・相談援助技術に必要な知識、倫理、価値、技術を説明できる。</li> </ul>			
<b>【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】</b>  16. 領域別 社会福祉士の実践的な働きを学ぶ (仮) 障害者福祉分野① 17. 領域別 社会福祉士の実践的な働きを学ぶ (仮) 障害者福祉分野② 18. 領域別 社会福祉士の実践的な働きを学ぶ (仮) 障害者福祉分野③ 19. 領域別 社会福祉士の実践的な働きを学ぶ (仮) 高齢者福祉分野① 20. 領域別 社会福祉士の実践的な働きを学ぶ (仮) 高齢者福祉分野② 21. 領域別 社会福祉士の実践的な働きを学ぶ (仮) 高齢者福祉分野③ 22. 領域別 社会福祉士の実践的な働きを学ぶ (仮) 地域福祉分野① 23. 領域別 社会福祉士の実践的な働きを学ぶ (仮) 地域福祉分野② 24. 領域別 社会福祉士の実践的な働きを学ぶ (仮) 地域福祉分野③ 25. 領域別 社会福祉士の実践的な働きを学ぶ (仮) 医療福祉分野① 26. 領域別 社会福祉士の実践的な働きを学ぶ (仮) 医療福祉分野② 27. 領域別 社会福祉士の実践的な働きを学ぶ (仮) 医療福祉分野③ 28. 地域の現状と求められる社会福祉士の働き (児童虐待対策) ① 29. 地域の現状と求められる社会福祉士の働き (児童虐待対策) ② 30. 地域の現状と求められる社会福祉士の働き (児童虐待対策) ③			
<b>【使用テキスト・参考文献】</b> 最新・ソーシャルワークの理論と方法【共通】 最新・ソーシャルワークの理論と方法【社会専門】 中央法規出版 社会福祉小六法2021 配布資料		<b>【単位認定の方法及び基準】</b> 授業態度、発表、作成資料、出席状況から総合的に評価し、単位認定を行う。下記の記載内容も留意すること。 ※1 試験の評価基準：6割以上の成績にて合格。 ※2 出席の評価基準：欠席が多い場合には、期末試験の受験資格が得られない。また、単位認定も行わない。	

## 授 業 概 要 (3/5)

授業のタイトル (科目名) 相談援助演習		授業の種類 (講義・演習・実習)	授業担当者 保田 浩美・花内 茉由・濱田 新
回数 75回 (前期 38回/後期 37時間)	時間数 (単位数) 150時間 (前期 75時間/後期 75時間)	配当学年・時期 1年 通年	必修 ・ 選択
<b>【授業の目的・ねらい】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>各分野で活躍している卒業生や実践家から社会福祉士の実践的な働きを知り、社会福祉士の基本的態度・知識・技術を学ぶ。</li> <li>専門的援助技術の概念化・理論化を図り、体系立てていくことができる能力を涵養させる。</li> </ul>			
<b>【授業全体の内容の概要】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>総合的かつ包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発に係る具体的な相談援助事例を体系的にとりあげ理解を深める。</li> <li>臨床場面を想定した実技指導 (ロールプレイング等) を用い体系的に理解を深める。</li> </ul>			
<b>【授業修了時の達成課題 ( 到達目標 ) 】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>社会福祉士の役割と働きについて知り、自身の適正を踏まえた社会福祉士像を構築することが出来る。</li> <li>相談援助技術に必要な知識、倫理、価値、技術を説明できる。</li> </ul>			
<b>【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>3 1. 地域の現状と求められる社会福祉士の働き (保護観察官) ①</li> <li>3 2. 地域の現状と求められる社会福祉士の働き (保護観察官) ②</li> <li>3 3. 地域の現状と求められる社会福祉士の働き (保護観察官) ③</li> <li>3 4. 地域の現状と求められる社会福祉士の働き (家計相談支援事業) ①</li> <li>3 5. 地域の現状と求められる社会福祉士の働き (家計相談支援事業) ②</li> <li>3 6. 地域の現状と求められる社会福祉士の働き (家計相談支援事業) ③</li> <li>3 7. 事業所の概要と社会福祉士の働きについて発表①</li> <li>3 8. 事業所の概要と社会福祉士の働きについて発表②</li> <li>前期末試験</li> <li>3 9. 相談援助の支援過程 (インテーク) ①</li> <li>4 0. 相談援助の支援過程 (インテーク) ②</li> <li>4 1. 相談援助の支援過程 (インテーク) ③</li> <li>4 2. 相談援助の支援過程 (アセスメント) ①</li> <li>4 3. 相談援助の支援過程 (アセスメント) ②</li> </ul>			
<b>【使用テキスト・参考文献】</b> 最新・ソーシャルワークの理論と方法【共通】 最新・ソーシャルワークの理論と方法【社会専門】 中央法規出版 社会福祉小六法2021 配布資料		<b>【単位認定の方法及び基準】</b> 授業態度、発表、作成資料、出席状況から総合的に評価し、単位認定を行う。下記の記載内容も留意すること。 ※1 試験の評価基準：6割以上の成績にて合格。 ※2 出席の評価基準：欠席が多い場合には、期末試験の受験資格が得られない。また、単位認定も行わない。	

## 授 業 概 要 (4/5)

授業のタイトル (科目名) 相談援助演習		授業の種類 (講義・演習・実習)		授業担当者 保田 浩美・花内 茉由・濱田 新	
回数 75回 <small>(前期38回/後期37時間)</small>	時間数 (単位数) 150時間 <small>(前期75時間/後期75時間)</small>	配当学年・時期 1年 通年		<input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各分野で活躍している卒業生や実践家から社会福祉士の実践的な働きを知り、社会福祉士の基本的態度・知識・技術を学ぶ。</li> <li>・専門的援助技術の概念化・理論化を図り、体系立てていくことができる能力を涵養させる。</li> </ul> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的かつ包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発に係る具体的な相談援助事例を体系的にとりあげ理解を深める。</li> <li>・臨床場面を想定した実技指導（ロールプレイング等）を用い体系的に理解を深める。</li> </ul> <p><b>【授業修了時の達成課題（到達目標）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉士の役割と働きについて知り、自身の適正を踏まえた社会福祉士像を構築することが出来る。</li> <li>・相談援助技術に必要な知識、倫理、価値、技術を説明できる。</li> </ul>					
<p><b>【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】</b></p> <p>44. 相談援助の支援過程（アセスメント）③</p> <p>45. 相談援助の支援過程（プランニング）①</p> <p>46. 相談援助の支援過程（プランニング）②</p> <p>47. 相談援助の支援過程（プランニング）③</p> <p>48. 模擬カンファレンス グループ準備①</p> <p>49. 模擬カンファレンス グループ準備②</p> <p>50. 模擬カンファレンス グループ準備③</p> <p>51. 模擬カンファレンス グループ発表①</p> <p>52. 模擬カンファレンス グループ発表②</p> <p>53. 模擬カンファレンス グループ発表③</p> <p>54. 災害時の社会福祉士の働き①</p> <p>55. 災害時の社会福祉士の働き②</p> <p>56. 災害時の社会福祉士の働き③</p> <p>57. 災害時の社会福祉士の働き④</p>					
<p><b>【使用テキスト・参考文献】</b></p> <p>最新・ソーシャルワークの理論と方法【共通】</p> <p>最新・ソーシャルワークの理論と方法【社会専門】</p> <p>中央法規出版</p> <p>社会福祉小六法2021</p> <p>配布資料</p>			<p><b>【単位認定の方法及び基準】</b></p> <p>授業態度、発表、作成資料、出席状況から総合的に評価し、単位認定を行う。下記の記載内容も留意すること。</p> <p>※1 試験の評価基準：6割以上の成績にて合格。</p> <p>※2 出席の評価基準：欠席が多い場合には、期末試験の受験資格が得られない。また、単位認定も行わない。</p>		

## 授 業 概 要 (5/5)

授業のタイトル (科目名) 相談援助演習		授業の種類 (講義・演習・実習)	授業担当者 保田 浩美・花内 茉由・濱田 新
回数 75回 (前期38回/後期37時間)	時間数 (単位数) 150時間 (前期75時間/後期75時間)	配当学年・時期 1年 通年	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択
<b>【授業の目的・ねらい】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各分野で活躍している卒業生や実践家から社会福祉士の実践的な働きを知り、社会福祉士の基本的態度・知識・技術を学ぶ。</li> <li>・専門的援助技術の概念化・理論化を図り、体系立てていくことができる能力を涵養させる。</li> </ul> <b>【授業全体の内容の概要】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的かつ包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発に係る具体的な相談援助事例を体系的にとりあげ理解を深める。</li> <li>・臨床場面を想定した実技指導（ロールプレイング等）を用い体系的に理解を深める。</li> </ul> <b>【授業修了時の達成課題（到達目標）】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉士の役割と働きについて知り、自身の適正を踏まえた社会福祉士像を構築することが出来る。</li> <li>・相談援助技術に必要な知識、倫理、価値、技術を説明できる。</li> </ul>			
<b>【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>58. ソーシャルサポートネットワーク（構築の実際）①</li> <li>59. ソーシャルサポートネットワーク（構築の実際）②</li> <li>60. ソーシャルサポートネットワーク（構築の実際）③</li> <li>61. ソーシャルサポートネットワーク（構築の実際）④</li> <li>62. 地域包括ケアシステム（構築の実際）①</li> <li>63. 地域包括ケアシステム（構築の実際）②</li> <li>64. 地域包括ケアシステム（構築の実際）③</li> <li>65. 地域包括ケアシステム（構築の実際）④</li> <li>66. 社会的孤立への支援①</li> <li>67. 社会的孤立への支援②</li> <li>68. 社会的孤立への支援③</li> <li>69. 多職種連携①</li> <li>70. 多職種連携②</li> <li>71. 多職種連携③</li> <li>72. 社会資源開発①</li> <li>73. 社会資源開発②</li> <li>74. 社会資源開発③</li> <li>75. まとめ</li> </ul> 後期末試験			
<b>【使用テキスト・参考文献】</b> 最新・ソーシャルワークの理論と方法【共通】 最新・ソーシャルワークの理論と方法【社会専門】 中央法規出版 社会福祉小六法2021 配布資料		<b>【単位認定の方法及び基準】</b> 授業態度、発表、作成資料、出席状況から総合的に評価し、単位認定を行う。下記の記載内容も留意すること。 ※1 試験の評価基準：6割以上の成績にて合格。 ※2 出席の評価基準：欠席が多い場合には、期末試験の受験資格が得られない。また、単位認定も行わない。	

